

子供たちが自ら作成!!

港が丘小学校で 「地域安全マップづくり」を行います！

北九州市では、子どもの防犯対策として、地域・大学・警察・行政が協働し、子どもたちに危ない場所を知ってもらい、自ら、その場所に近づかないなどの安全・安心の知識を学んでもらうため、「地域安全マップづくり」を実施しております。

この度、港が丘小学校で地域安全マップづくりを実施することになりましたので、お知らせいたします。

「地域安全マップづくり」とは

「犯罪が起きにくい場所」と「犯罪が起きやすい場所」を洗い出して地図にしたもので、立正大学文学部社会学科の小宮信夫教授が犯罪機会論を基に考案したものです。

子どもの安全対策を図るため、実際にまちを観察して、地図を作成することで、「どこの場所が危ないか」ではなく、「どういった場所が危ないか」を知ってもらいます。

子どもたち自身の危機回避能力やコミュニケーション能力の向上、さらに地域への愛着、非行防止、地域との危険箇所情報の共有化などにもつながります。

<実施概要>

実施日時	令和7年11月21日(金) 9:10~15:20
場所	港が丘小学校(門司区清見 1-18-38)体育館及び校区内
対象	港が丘小学校6年生 約 60 名
学生ボランティア	九州国際大学 法学部 姜ゼミ「KiTAMAP」



フィールドワークの様子



マップ作成の様子

<内容> ※時間は多少前後する可能性があります。

時間	内容
9:10~9:40	事前学習(講義)
10:00~11:10	フィールドワーク
11:10~14:40	マップづくり(昼食や掃除時間を除く)
14:40~15:20	発表・事後学習

※雨天決行ですが、荒天時は中止する可能性があります。

【問合せ先】

総務市民局 安全・安心推進課
担当:課長:倉田 係長:西本
TEL:093-582-2911
FAX:093-582-3889